



本内容の報道は、調印式終了（7月2日12時）まで
お控えいただくようお願い申し上げます

令和3年6月29日

国立大学法人広島大学、東広島市及び株式会社フジタとの間 における包括的な連携推進に関する協定の締結について

地方創生の新たな産官学連携モデルとして、国立大学法人広島大学、東広島市と株式会社フジタは、Society5.0 及びスマートシティの実現、東広島キャンパスのスマート化・グリーン化を中心とする、「包括的な連携推進に関する協定」を締結します。

本協定は、広島大学、東広島市と株式会社フジタが、イノベーションを創出する環境の形成、学術研究面、人材育成面または産官学連携面等での国際的な展開を相互に連携しながら推進し、日本国及び地域から世界の発展に寄与することを目的としています。

つきましては、調印式及び記者会見を下記のとおり行いますので、ご案内申し上げます。

記

<調印式及び記者会見>

- 【日時】 7月2日（金）11：15～12：00
【場所】 西条 HAKUWA ホテル 2階（ダイヤモンド）
（東広島市西条下見6丁目5番45号）
【出席者】 国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫
東広島市 市長 高垣 廣徳
株式会社フジタ 代表取締役社長 奥村 洋治

<連携内容>

- (1) 広島大学東広島キャンパスのスマート化・グリーン化に関すること。
- (2) 東広島市及び周辺地域での Society5.0 やスマートシティの実現に関すること。
- (3) Society5.0 やスマートシティの実現に必要なイノベーションの創出支援に関すること。
- (4) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な学術研究に関すること。
- (5) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な教育に関すること。
- (6) Society5.0 やスマートシティの国際展開に関すること。
- (7) その他、3者が認める事項。